

「平成 26 年度基本構想進行管理の結果」に寄せられた意見及び区の考え方

※「意見」は原文のとおり表記しています。

No	意見	区の考え方
1	<p>最も関心が高いのは、大項目「子育て・教育」です。</p> <p>私は、子供が産まれたことを機に、より良い教育環境および住環境を求めて、今年の秋に文京区本駒込に移り住みました。子供は現在 1 歳 1 ヶ月です。</p> <p>人は生きていく上で、日々いろいろな問題を解決していく必要があります。そのためには、</p> <p>(1) 先達の見つけた、既に既知となった解き方を習得すること</p> <p>(2) 未知の問題に対し、自分で見て、考え、答えを導き出す術や姿勢を見につけることの両方が必要だと考えています。その観点で、中項目「教育」の施策にて、(1)だけでなく(2)についても力を入れていることが読み取れます。就学している児童に対する区の姿勢は、親として心強い限りです。</p> <p>その一方で、就学前の子供を持つ身として、今まさに直面している最も切実な問題は、保育園の確保です。我が家の家計では生活を維持するためには共働きが必須であり、そのためには子供を預けられる必要があります。預け先はどこでも良いわけではなく、子供の安全と健康が守られることが大前提です。極端な例ですが記憶に新しい事件として今年発生した「富士見市ベビーシッター事件」があります。</p> <p>具体的には、認可保育所に入ることが理想ですが、それが無理なら認証保育所に入りたいと考えています。今年に文京区の認可保育所入所申し込みをさせて頂きましたが、選考に通らない可能性も高いです。また、たくさんの認証保育所も回って申込みをしておりますが、どこも数十人待ちという状況です。どちらにも入所できない可能性が結構高く、そうすると認可でも認証でもない預け先を探さねばならないのですが、前述のような事件もあり、不安な日々を過ごしています。</p> <p>私たちが申し込んだ認証保育所のうちいくつかは、来年度から認可保育所になると伺いました。これは、「子育て・教育」No.021 の事業に該当すると認識しています。この施策自体は素晴らしいと思いますが、「認可保育所+認証保育所」の総量が増えないと、安心できる預け先の枠が増えないこととなります。</p> <p>よって、認可保育所だけでなく、「認可保育所+認証保育所」の総量が増えるような施策を</p>	<p>区内の東京都認証保育所のうち、認可保育所への移行を希望する施設については、保育サービスの安定的提供、保育士資格保有者 10 割配置による保育の質の向上等を促進するため、認可化に必要な支援を行っております。</p> <p>今後は、就学児童人口の著しい増加等による保育ニーズの高まりに迅速に対応するため、待機世帯の多くが入所を希望している私立認可保育所を中心とした誘致を積極的に進め、保育サービスの量的拡大を図っていきたいと考えております。</p> <p>区の子ども・子育て会議において算出した保育ニーズ量を踏まえた現時点の見込みとして、平成 27 年度から平成 31 年度までの 5 年間に於いて、私立認可保育所を 17 施設、小規模保育施設を 2 施設、認定こども園（保育所型）を 1 施設開設する予定でありますが、その後のニーズの動向等を見据えながら適時適切に事業を推進し、引き続きスピード感を持って待機児童の解消に努めてまいります。</p>

	<p>検討して頂けると、大変ありがたいです。</p> <p>以上、よろしくお願いいたします。</p>	
2	<p>029 放課後全児童向け事業に対する意見</p> <p>昔、私自身の小学生時代は放課後校庭で4時半まで遊んでおりました。今の小学校では校庭で平日の放課後自由に遊べない、ということを知り、驚いています。</p> <p>ただ今3校だけ、しかも決められた曜日のみ、保護者や地域の人のご好意、ボランティアで実施されているということ。納得できません。マンパワーの強化、専門に児童をみていただける人を雇ってほしいです。</p> <p>文京区小学校、全校の校庭開放を強く希望します。</p>	<p>放課後全児童向け事業については、現在3校の区立小学校で実施しております。また、現在未実施の区立小学校においても、平成27年度から31年度までの5年間で、地域の皆様と連携しつつ放課後全児童向け事業を順次整備していく予定です。</p> <p>将来的には、区立小学校全校で、月曜日から金曜日までの放課後に児童が安心して活動できる居場所の提供を目指してまいります。</p>